

アート学科
イメージクリエイションコース

Image Creation

IC

2021年度 アート学科 イメージクリエイションコース 2年次

☆マーク: 2・3年合同

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
イメージクリエイション 1						4
	○△造形心理ワークショップ	福田由紀夫	前	火1/2	231/232	
	○△芸術表現ワークショップ	"	後	火1/2	231/232	
イメージクリエイション 2						4
	○社会とアート1	ゲスト講師	前	月2	231/232	
	○"	横谷奈歩	後	木2	231/232	
イメージクリエイション演習1-1	*すべて必修					6
	○△☆イメージクリエイション演習 1	橋本玲美	前	月3/4	231/232	
	○△"	野村和弘	前	水1~4	231/232	
	立体ワークショップ	杉浦藍	前	火3/4	231/232	
	○△メディアアプローチ WS	西本太郎	前	水5/6	231/232	
	○ATCL合宿		前	授業外2日間		
	○前期講評	担当教員全員	前	調整週2日間		
イメージクリエイション演習1-2	*すべて必修					6
	○☆イメージクリエイション演習 1	野村和弘	後	水1~4	231/232	
	現代アート研究 1	野村和弘	後	月3/4	231/232	
	○△フィギュアワークショップ	長汐響	後	月5/6	231/232	
	立体ワークショップ	杉浦藍	後	火3/4	231/232	
	○メディアアプローチ WS	西本太郎	後	水5/6	231/232	
	○フェスタ展示	福田/助手	後	準備週2日間		
	○後期講評	担当教員全員	後	調整週2日間		
修了制作						6
	○修了制作指導	横谷奈歩	制	木2	231/232	
	"	西本太郎	制	月3/4	231/232	
	"	福田由紀夫	制	火1/2	231/232	
	"	杉浦藍	制	火3/4	231/232	
	○"	野村和弘	制	水1~4	231/232	
	○制作指導	IC教員	上記授業時間外	月~金1~4限	231/232	
	○修了制作審査/講評	担当教員全員	制	制作週後2日間		

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

卒業に必要な修得最低単位数

	科目種類	1年	2年	3年	合計単位
2020年度 入学生	専門科目	33	26	26	85
	学術造形科目		6	6	12
		33	32	32	97

※学術造形科目は3年間で12単位以上修得が条件です。1年間の単位修得数は目安になります。

○=実務教員授業

△=高等教育無償化申請

2021年度 アート学科 イメージクリエイションコース 3年次

☆マーク: 2・3年合同

科目名	授業分野	担当教員	開講期	時間割	教室	単位
イメージクリエイション 3						4
	○社会とアート2	横谷奈歩	前	木3/4	221/222	
	○ "	"	後	木3/4	221/222	
イメージクリエイション 4						4
	○企画制作ワークショップ	福田由紀夫	前	月1/2	221/222	
	○展示企画ワークショップ	"	後	月1/2	221/222	
	からだのじかん	オクダ	後期6回	月1/2	221/222	
イメージクリエイション演習2-1	*すべて必修					6
	イメージクリエイション演習 2	バーバラ・ダーリン	前	火1~4	221/222	
	○ "	福田由紀夫	前	水3/4	221/222	
	現代アート研究 2	野村和弘	前	月3/4	221/222	
	○合宿		前	授業外/3日間		
	○前期講評	担当教員全員	前	調整週/2日間		
イメージクリエイション演習2-2	*すべて必修					6
	イメージクリエイション演習 2	バーバラ・ダーリン	後	火1~4	221/222	
☆1/2限	○ "	福田由紀夫	後	水1~4	221/222	
	○後期講評	担当教員全員	後	調整週/2日間		
卒業制作						6
	○卒業制作指導	福田由紀夫	制	月1/2水1~4	221/222	
	"	バーバラ・ダーリン	制	火1~4	221/222	
	○ "	横谷奈歩	制	木3~4	221/222	
	○制作指導	IC教員	上記授業時間外	月~金1~4限	221/222	
	○卒業制作審査/講評	担当教員全員		制作週外/2日間		
	○卒業制作展 展示	福田/助手		制作週後/1週間		

※講評、展示等の日数は変更になる場合があります。

卒業に必要な修得最低単位数

	科目種類	1年	2年	3年	合計単位
2019年度 入学生	専門科目	33	26	26	85
	学術造形科目		6	6	12
		33	32	32	97

※学術造形科目は3年間で12単位以上修得が条件です。1年間の単位修得数は目安になります。

○=実務教員授業

△=高等教育無償化申請

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△イメージクリエイション1	授業分野	造形心理ワークショップ
担当教員	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手 1990年4月～1991年3月同大学非常勤講師 1995年4月～1998年3月東京藝術大学美術学部油画科非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像ディレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
授業内容 および 到達目標	表現行為にとって何が重要なのかを造形心理や過去の美術のスタイルに触れ、作品を制作するときに必要な姿勢を身につける。前期では、作品制作に応用できる造形心理の幾つかの項目を演習を交えて理解していく。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 造形心理:知覚について、図と地、造形要素 2週 造形要素 線について 先端の行使ということ 描画材 3週 フレームについて 画面の構造/構図・比率の収集 4週 " 5週 奥行き知覚と遠近法 6週 " 7週 色について(色=光=波長)物質と光、カットアウト 8週 絵の具について アクリル絵の具製作 9週 " 10週 恒常性と錯視 11週 " 空間への展開(だまし絵:ジョルジュ・ルースを参照して) 12週 " 残像		
初回持参物	MacBook、鉛筆などのデッサン道具		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業の取り組み方を重視します。評価は、課題の提出と完成度をもとに総合的に判定します。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/ 89～80点:優/ 79～70点:良/ 69～60点:可/ 59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△イメージクリエイション1	授業分野	芸術表現ワークショップ
担当教員	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手 1990年4月～1991年3月同大学非常勤講師 1995年4月～1998年3月東京藝術大学美術学部油画科非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像ディレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
授業内容 および 到達目標	表現行為にとって何が重要なのかを造形心理や過去の美術のスタイルに触れ、作品を制作するときに必要な姿勢を身につける。後期は、造形表現の考え方を学び、演習を交え理解していく。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 イメージの背景～夢十夜 カットアップとカットアウト 2週 " " 3週 設置 関係性の理解、身体レベルの変更 4週 " " 5週 " " 6週 修復について 7週 " " 8週 " " 9週 記憶、遺物、記録—リサーチと収集 10週 " " 11週 " " 12週 " "		
初回持参物	MacBook、鉛筆などのデッサン道具		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業の取り組み方を重視します。評価は、課題の提出と完成度をもとに総合的に判定します。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	イメージクリエイション2	授業分野	社会とアート1(前期)	
担当教員①	ゲスト講師(1週～6週担当)			
専門 実務経験等	専門:アーティストなど			
担当教員②	ゲスト講師(7週～12週担当)			
専門 実務経験等	専門:アーティストなど			
授業内容 および 到達目標	アートと社会の関係について、様々な事例を紹介しながら、現在の問題について考察します。			
授業内容詳細・進行				
1週				
2週				
3週				
4週				
5週				
6週				
7週				ゲストと講師によるワークショップ
8週				
9週				
10週				
11週				
12週				
初回持参物	この授業専用のノート／筆記用具			
準備学習	特になし。			
成績評価方法 および 注意事項	授業への参加の姿勢、レポート提出			
	成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可			

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	イメージクリエイション2	授業分野	社会とアート1(後期)
担当教員	横谷奈歩		
専門 実務経験等	専門:アーティスト ○アーティスト・イン・レジデンス参加(2013年から現在まで、AIR_Onomichiに招聘) ○星劇団再演プロジェクト/地域で展開するアートプロジェクトの制作・進行。(2013年より現在進行中) ○高橋家にまつわる物語/地域で展開するアートプロジェクトの制作・進行。(2013年より現在進行中) ○アートとサイエンスのあいだ/異分野の専門家との共同プロジェクト(2012年、2014年に展覧会と出版) ○芸術と考古学/考古学とアートの共同プロジェクト(2017年に展覧会、2019年に展覧会予定)		
授業内容 および 到達目標	幅広いアートの活動のあり方を知識だけでなく体験を通じて習得していく。 自身のプランを計画、実行が出来るまでになることが望ましい。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 美術館における展示の例 2週 地方の芸術祭について — ひろしまトリエンナーレ 等 3週 アーティスト・イン・レジデンスとは 4週 アートプロジェクトについて 5週 アートと異分野とのコラボレーションの例 1 6週 アートと異分野とのコラボレーションの例 2 7週 さまざまな国際展の紹介 — 世界で何が起きているか 8週 アートプロジェクトを企画する /講評 9週 ワークショップを企画する 10週 ワークショップを企画する /講評 11週 理想の展覧会を考える 12週 企画プレゼンテーションとディスカッション /講評		
初回持参物	この授業専用のノート/筆記用具		
準備学習	さまざまな展覧会の見学をする。過去のアートプロジェクトにどういったものがあるのか、調べてみる。		
成績評価方法 および 注意事項	授業への参加の姿勢、レポート提出。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△イメージクリエイション演習1-1・1-2	授業分野	イメージクリエイション演習1
担当教員①	野村和弘		
専門 実務経験等	専門:美術家 1990年デュッセルドルフ美術アカデミーにて学位(Meisterschueler)取得 パブリックコレクション 千葉市美術館 富士ゼロックス いわき市立美術館 3331アーツ千代田 他、美術館で多くの企画展に参加		
担当教員②	橋本玲美		
専門 実務経験等	専門:映像 2017年～現在 株式会社LOBOIにて、WEB CMや企業PRなどの映像制作を行う。		
	前期:月3～4限はデジタルワークショップ。水 1～4限は制作実習。作品制作の実践を繰り返すことから、ポジティブさや思考力、自立した姿勢を身に付けていく。何より、自分のために、作品を作っているということ(つまり、正しいとされる方法や、トレンドではなく、この姿勢こそが、新しい思考や、新しい作品を生み出すということ)を理解する。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	月曜3～4限 1週 イントロダクション 2週 コラージュ／イメージの変換、換喩、連想ゲーム 3週 コラージュ／素材の準備、カメラ撮影 4週 コラージュ／作業 5週 コラージュ／作業 6週 コラージュ／発表 7週 ポートフォリオ／自分年表の作成(自己分析) 8週 ポートフォリオ／自分年表の作成(リサーチと組立て) 9週 ポートフォリオ／解説、作業 10週 ポートフォリオ／作業 11週 ポートフォリオ／作業 12週 プレゼンテーション		水曜1～4限 作品制作実習、テーマ「愛」 “ “ “ 作品制作実習、テーマ「空」 “ “ “ 作品制作実習、自由テーマ “ “ “
〈後期〉	1週 作品制作実習、テーマ「動」 2週 “ (制作) 3週 “ (制作) 4週 (制作、発表、撮影) 5週 作品制作実習、テーマ「色」 6週 “ (制作) 7週 “ (制作) 8週 (制作、発表、撮影) 9週 作品制作実習、自由テーマ 10週 “ (制作) 11週 “ (制作) 12週 “ (制作、発表、撮影)		
初回持参物	前期:ノート／筆記用具 後期:夏季休業課題／自主制作テーマプラン		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業への参加の姿勢、作品制作への集中度、作品の完成度。 各課題の詳細は、各課題初回ガイダンス時に伝達する。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△イメージクリエイション演習1-2	授業分野	フィギュアワークショップ
担当教員	長汐響		
専門 実務経験等	専門:造形作家 2007年頃よりフリーの原型師 2011年「株式会社GB2」設立 フィギュアのデザイン、原型、彩色見本を制作		
授業内容 および 到達目標	フィギュア造形における骨格と筋肉の重要性とそののコツを学ぶ授業です。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 授業説明、スケッチ、実物大3面図作成 2週 3面図作成、芯作り 3週 骨格部分造形1 4週 骨格部分造形2 5週 骨格部分造形3 6週 筋肉部分造形1 7週 筋肉部分造形2 8週 筋肉部分造形3 9週 筋肉部分造形4 10週 表面部分造形1 11週 表面部分造形2 12週 表面部分造形3 講評		
初回持参物	スケッチブック／コピーカード／筆記用具		
準備学習	美術解剖学書の抜粋(去年使ったもの PDF化済み)の閲覧		
成績評価方法 および 注意事項	スキルの習得度。手順の理解度。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀 / 89~80点:優 / 79~70点:良 / 69~60点:可 / 59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	イメージクリエイション演習1-1-1-2	授業分野	立体ワークショップ
担当教員	杉浦藍		
専門 実務経験等	専門:アーティスト 2019年 アーティストインレジデンス: Nida Art Colony(リトアニア) 2018年 グループ展「Time」(草御殿 Ivy Palace/台北) 2017年 個展「通り過ぎて、ふと止まる」(HAGISO/東京)		
授業内容 および 到達目標	何かを創る過程において、制作者は必ず自分と対峙し素材を選び、それを使って失敗と成功を繰り返しながら創造しなければなりません。自由に発想した事を実在化させる方法をサポートします。コンセプト作りから完成まで、制作の流れ全般を指導します。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 バルーンプロジェクト :「拡大」することで変わるもの (企画、アイデアスケッチ) 2週 " (ミニチュア制作、展開図制作) 3週 " (制作) 4週 " (制作、発表、撮影) 5週 テーマ制作 6週 " 7週 " 8週 " 9週 共通課題: 校外展示作品制作(セシオン杉並での展示企画) 10週 " (制作) 11週 " (制作) 12週 " (制作、発表)		
〈後期〉	1週 立体構成:ドローイング、板材カット 2週 立体構成: 板材カット、構成 3週 立体構成講評/型取り:粘土 4週 型取り: 塑造 5週 型取り: 塑造、石膏型取り 6週 型取り: 石膏型取り、成形 7週 型取り: 成形、割り出し 8週 型取り: 講評、色々な物の型取りワークショップ 9週 インスタレーション作品の制作 10週 " 11週 " 12週 " 講評		
初回持参物	作業着(汚れても良い格好)/作業用手袋/作業靴(ハイヒールは NG)		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	作品制作態度。自分の作りたいものを模索し試行している態度を評価します。 授業参加の姿勢と考えを発信する事も重要です。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	○△イメージクリエイション演習1-1・1-2	授業分野	メディアアプローチWS1・2
担当教員	西本太郎		
専門 実務経験等	専門:美術家/ディレクター 1987年～1989年 特撮セットデザイン:円谷映像など(帝都物語、ウルトラQ、大霊界、孔雀王など) 1989年～映像ディレクター アートディレクター:株)ソニー・ミュージックエンタテインメント 株)プラスマックス 1996年～2005年 メディアアート intermedia performance unit Nest として活動 2004年～2007年 地下工事現場見学会市民代表として活動 及び 地下空間での映像投影演出 国土交通省ジオサイトプロジェクト 2004～現在 映像空間演出 プロジェクションマッピングなど(野宮真貴リサイクル2007～2010、 タカセの夢2010～2015(静岡、東京、大阪、韓国、カメルーン)、ANGELS2016～2018(静岡、東京芸術祭)		
授業内容 および 到達目標	SNS、スマートフォン、アプリ、体感ゲーム、マッピングなど様々な技術や表現を考察し作品を制作していきます。 毎授業内の時間内で作品の試作を作っていく事で、手を動かしながら考え提示できるようにしていきます。 関連キーワード...クリエイティブcommons/デジタルアプリケーション/フリーカルチャー/サイトスペシフィック 使用アプリケーション...GoogleChrome/Photoshop/Illustrator/QuickTime/premiere など		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 「LOOKING INTO THE PAST」 webと時間軸について 2週 「LOOKING INTO THE DRAWING」ドローイング 3週 「LOOKING INTO XXXXX」企画 イメージスケッチ 4週 「LOOKING INTO XXXXX」企画 制作 5週 「LOOKING INTO XXXXX」企画 制作 発表 6週 「外部機器を用いたデバイス作品」 スクロール及びクリックに特化した作品制作 7週 「外部機器を用いたデバイス作品」 イメージスケッチ 企画発表 8週 「外部機器を用いたデバイス作品」 制作 ムービーやgiffに関する説明 9週 「外部機器を用いたデバイス作品」 制作 スクロールの装置に関して 10週 「外部機器を用いたデバイス作品」 制作 11週 「外部機器を用いたデバイス作品」 制作 12週 「外部機器を用いたデバイス作品」 発表		
〈後期〉	1週 「TableTopMapping」 Projection Mapping 共同企画 2週 「TableTopMapping」イメージスケッチ 企画発表 3週 「TableTopMapping」制作 ガイドに関して 4週 「TableTopMapping」制作 テクスチャと光源 5週 「TableTopMapping」制作 6週 「TableTopMapping」発表 7週 「Projection Mapping」個人企画 映像収録 8週 「Projection Mapping」イメージスケッチ 企画発表 9週 「Projection Mapping」制作 10週 「Projection Mapping」制作 11週 「Projection Mapping」制作 12週 「Projection Mapping」プレゼンテーション発表		
初回持参物	googleクラスのアカウント、筆記道具、カッターなど		
準備学習	各種アカウント取得、検索して使用イメージなど調査。		
成績評価方法 および 注意事項	授業への参加の姿勢、制作過程の共有、作品制作への集中度、作品の完成度。 アカウントとして Google / tumblr / Second Life /twitter / を使用する場合があります。 各自アカウント取得。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/ 89～80点:優/ 79～70点:良/ 69～60点:可/ 59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	イメージクリエイション演習1-2、2-1	授業分野	現代アート研究1・2
担当教員	野村和弘		
専門 実務経験等	専門:美術家 1990年デュッセルドルフ美術アカデミーにて学位(Meisterschueler)取得 パブリックコレクション 千葉市美術館 富士ゼロックス いわき市立美術館 3331アーツ千代田 他、美術館で多くの企画展に参加		
授業内容 および 到達目標	2週間で1回の課題。それぞれにテーマを設けて(授業初めに説明)、そのことについて思考し、紙の上に定着させるを試みる。		
授業内容詳細・進行			
〈2年後期〉	1週・2週 アート・ドリル1/マグリット 3週・4週 アート・ドリル2/デュシャン 5週・6週 アート・ドリル3/デルポー 7週・8週 アート・ドリル4/リキテンシュタイン 9週・10週 アート・ドリル5/マネーマン 11週・12週 復習/1~5の中で、もう一度取り組みたいこと、あるいはそれから発展したものを試みる。		
〈3年前期〉	1週・2週 アート・ドリル6/ピカピア 3週・4週 アート・ドリル7/バルチュス 5週・6週 アート・ドリル8/パナマレンコ 7週・8週 アート・ドリル9/ブロータース 9週・10週 アート・ドリル10/クルーガー 11週・12週 復習/6~10の中で、もう一度取り組みたいこと、あるいはそれから発展したものを試みる。		
初回持参物	画用紙、鉛筆、水彩絵具等		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	授業内容は、授業の進み方を見て変更される場合がある。授業への参加の姿勢を評価する。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	修了制作	授業分野	修了制作
担当教員	イメージクリエイションコース 2年生 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	2年次に培った各自の力を総合的にはかる、自主研究テーマによる作品制作を行う。 3年次に必要とされる、自らが選択し、決定し、能動的に制作できる力を養成する。		
授業内容詳細・進行			
	1週 企画発表、作品制作、内容チェック(冬休み中にプランニング、 asabi.edu参照) 2週 " 3週 作品制作、内容チェック 4週 作品制作、内容チェック、講評		
初回持参物	企画書／プランニングエスキース／筆記用具		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	①出席を重視 ②制作された作品の完成度 成績評価(100点評価): 100~90点:秀 / 89~80点:優 / 79~70点:良 / 69~60点:可 / 59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	イメージクリエイション3	授業分野	社会とアート2
担当教員	横谷奈歩		
専門 実務経験等	専門:アーティスト ○アーティスト・イン・レジデンス参加(2013年から現在まで、AIR_Onomichiに招聘) ○星劇団再演プロジェクト/地域で展開するアートプロジェクトの制作・進行。(2013年より現在進行中) ○高橋家にまつわる物語/地域で展開するアートプロジェクトの制作・進行。(2013年より現在進行中) ○アートとサイエンスのあいだ/異分野の専門家との共同プロジェクト(2012年、2014年に展覧会と出版) ○芸術と考古学/考古学とアートの共同プロジェクト(2017年に展覧会、2019年に展覧会予定)		
授業内容 および 到達目標	幅広いアートの活動のあり方を知識だけでなく体験を通じて習得していく。自身のプランを計画、実行が出来るまでになることが望ましい。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 さまざまなアートプロジェクトの紹介 2週 ポートフォリオを元に、プレゼンテーション +ディスカッション 3週 制作におけるリサーチの方法について 4週 リサーチテーマの決定とプレゼンテーション 5週 オブジェやテキストとの組み合わせ、インスタレーションへの展開と制作 6週 オブジェやテキストとの組み合わせ、インスタレーションへの展開と制作 7週 発表と講評会 8週 テーマに対する多様な手法の紹介 9週 現実空間と虚構の物語の交錯する空間、インスタレーションの考案 10週 制作とディスカッション 11週 制作とディスカッション 12週 発表と講評会		
〈後期〉	1週 表現の場について考える。さまざまな場における制作と発表の例 2週 未来に向けて — アートの現場で働く/続けていくこと 3週 アートの社会的介入について、国際展や芸術祭に見られる様々な事例を紹介 4週 他者との関係性を重視したリレーショナル・アートやグループワークの企画 5週 制作とディスカッション 6週 制作とディスカッション 7週 今という時代について考察し、自身の表現について言語化するレッスン 8週 テーマ設定と、リサーチの方向性についてプレゼンテーション 9週 制作とディスカッション - 卒展に向けた見せ方の問題 10週 制作とディスカッション 11週 制作とディスカッション 12週 発表と講評会		
初回持参物	筆記用具/ノート		
準備学習	さまざまな展覧会の見学をする。過去のアートプロジェクトにどういったものがあるのか、調べてみる。		
成績評価方法 および 注意事項	実験精神と自由な発想力、制作における集中力を重視。 成績評価(100点評価): 100~90点:秀/89~80点:優/79~70点:良/69~60点:可/59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	イメージクリエイション4	授業分野	企画制作ワークショップ
担当教員	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手 1990年4月～1991年3月同大学非常勤講師 1995年4月～1998年3月東京藝術大学美術学部油画科非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像ディレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
授業内容 および 到達目標	作品制作を形成する背景と身体性について学び、自分の表現をプレゼンテーションできる力を養成する。 前期では、フィールドワークなどの演習を通して調査、分析の眼を育てる。 特別講師による身体ワークショップあり。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 「Study of Tourisms」観光について考える。 1.電子書籍サービスでの編集 2.定点観察 2週 〃 3週 〃 4週 〃 5週 余白について 紙の余白、身近な余白 6週 〃 7週 企画演習1 研究テーマについて ～seriesを考える 8週 〃 プランニングエスキース 資料収集 9週 〃 10週 〃 フィールドワーク 身近な地域とアート 画像の収集 →電子書籍サービスでの編集 11週 〃 12週 〃 まとめ 発表		
初回持参物	MacBook、筆記用具		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業への取り組みを重視します。評価は、課題の理解度と提出物で判定します。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀 / 89～80点:優 / 79～70点:良 / 69～60点:可 / 59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	イメージクリエイション4	授業分野	展示企画ワークショップ
担当教員	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手 1990年4月～1991年3月同大学非常勤講師 1995年4月～1998年3月東京藝術大学美術学部油画科非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像ディレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
授業内容 および 到達目標	作品制作を形成する背景と身体性について学び、自分の表現をプレゼンテーションできる力を養成する。 前期に行った企画制作をもとに、使用したツールをして企画書の制作、卒業制作の企画を行う。 特別講師による身体ワークショップあり。		
授業内容詳細・進行			
〈後期〉	1週 からだのじかん(講座開催日程の変更あり) 2週 // 3週 // 4週 // 5週 // 6週 // 7週 卒制企画 コンセプトシート、ねらいをはっきりするには？ 8週 // 企画チェック 9週 // 企画チェック 10週 // 企画チェック 11週 // 企画チェック 12週 // プレゼンテーション資料のデモンストレーション		
初回持参物	筆記用具／ノート		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業への取り組みを重視します。評価は、課題の理解度と提出物で判定します。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/ 89～80点:優/ 79～70点:良/ 69～60点:可/ 59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	イメージクリエイション演習2-1・2-2	授業分野	イメージクリエイション演習2
担当教員①	福田由紀夫		
専門 実務経験等	専門:美術家 1987年4月～1990年3月東京藝術大学美術学部絵画科油画専攻文部教官助手、 1995年4月～1998年3月同大学非常勤講師 1996年～2000年公益法人日本科学技術振興財団委託鳥取市歴史博物館常設展示企画制作、大阪市くらしの今昔館映像 デレクション、2000年4月～女子美術学部短期学部造形学科デザインコース非常勤講師		
担当教員②	バーバラ・ダーリン		
専門 実務経験等	専門:美術家 ホームページ(www.barbaradarling.com)		
授業内容 および 到達目標	自分の表現が「作品になる」と「作品にならない」ことの相違を理解し、表現者として自立する力を養成する。 作品の内容と形状、素材の関係、展示という連関する構造を体験的に理解し、アートとは何かを考察しながら、作品制作に関 わる姿勢を身につける。		
授業内容詳細・進行			
〈前期〉	1週 現代美術演習1:現代アートの作家を参照し、制作手法を分析、応用する。 2週 〃 3週 現代美術演習2:現代アートの作家を参照し、制作手法を分析、応用する。 4週 〃 5週 〃 (2課題終了後に講評) 6週 テーマ制作(テーマガイダンス、プランニング) 7週 〃 (作品制作) 8週 〃 (作品制作) 9週 共通課題:校外展示企画(プランニング) 10週 〃 (作品制作) 11週 〃 (作品制作) 12週 〃 (セッション衫並で展覧会・合評を行う。)		
〈後期〉	1週 テーマ制作(テーマガイダンス、プランニング) 2週 〃 (作品制作) 3週 自主企画展: IC科合同展示に向けて(展覧会企画ミーティング、コンセプト決定) 4週 〃 (作品制作、チェック) 5週 〃 (作品制作、チェック) 6週 〃 (展示講評) 7週 卒業制作①:企画→制作→講評→再制作→展示 8週 〃 (作品制作) 9週 卒制中間チェック 10週 卒業制作②:企画→制作→講評→再制作→展示 11週 〃 (作品制作) 12週 〃 (講評、再制作)		
初回持参物	ノート/筆記用具/後期初回授業に夏季休業課題、卒業制作テーマプラン		
準備学習	事前にGoogleクラスルームをチェック		
成績評価方法 および 注意事項	授業への参加の姿勢、作品制作への集中度、作品の完成度。 各課題の詳細は、各課題初回ガイダンス時に伝達する。 成績評価(100点評価): 100～90点:秀/89～80点:優/79～70点:良/69～60点:可/59点以下:不可		

IC 対面とオンライン併用での実施

科目名	卒業制作	授業分野	卒業制作
担当教員	イメージクリエイションコース 3年生 担当教員		
専門 実務経験等	専門:各教員の担当授業を参照		
授業内容 および 到達目標	後期より進めてきた各自の研究テーマを掘り下げ、より高度な制作のプロセスによる、質の高い完成度を持った作品を目指す。		
授業内容詳細・進行			
1週	作品制作、個別制作指導		
2週	"		
3週	作品制作、個別制作指導、展示計画		
4週	" (卒制審査)		
初回持参物	研究テーマプランニングシート		
準備学習	特になし。		
成績評価方法 および 注意事項	作品の新奇性、制作の過程、完成度		
	成績評価(100点評価): 100~90点:秀 / 89~80点:優 / 79~70点:良 / 69~60点:可 / 59点以下:不可		